不登校の現状と対策について

戸田市教育委員会
教　育　政　策　室

令和３年度までの状況

プラン実施前の課題

・不登校数が**増加傾向**（特に小学校の不登校数が増加）
・**「どこにもつながっていない児童生徒」**の割合を減らすことが課題

➢不登校児童生徒の推移【発生率%】

児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果より

戸田市の状況

	H30	R1	R2	R3
小学校	0.57	0.66	0.86	1.32
中学校	3.30	3.48	3.64	3.77
小・中	1.36	1.48	1.68	2.06

【参考】国の状況

	H30	R1	R2	R3
小学校	0.70	0.83	1.00	1.30
中学校	3.65	3.94	4.09	5.00
小・中	1.69	1.88	2.05	2.57

➢「どこにもつながっていない児童生徒」の割合

令和３年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果より

戸田市 **４１.３%**　　**国** **（参考）３６.３%**

戸田型オルタナティブ・プラン～誰一人取り残されない教育の実現～

◆小さなサインを「科学の視点」で見つけ出す
◆「未然防止」「早期発見・早期対応」「適切な支援」のための選択肢

1 人

戸田型校内サポートルーム「ぱれっとルーム」設置事業

不登校を**支援**する



県立戸田翔陽高校内教室との連携

オンラインの学びの場の活用

- **戸田型校内サポートルーム「ぱれっとルーム」**設置（3校）
- 小中学校スクールサポーター配置による学校・家庭支援の充実
- ICTを活用した学習支援や教育相談の推進
- 教育支援センター「すてっぷ」、教育センター等との連携
- **埼玉県教育委員会との連携 支援教室「いっぽ」**
- **認定NPO法人「カタリバ」との連携によるオンラインを活用した教育相談**

2 データ

不登校対策ラボラトリー「ぱれっとラボ」設置事業

不登校を**科学**する



戸田市教育政策シンクタンクとの連携
全人的な教育を科学の視点で捉え、支える

スタンドバイ株式会社との連携

デジタル庁実証事業に採択

- 専門家による**不登校対策ラボラトリー「ぱれっとラボ」**設立
- **本市の不登校対策・支援に関する調査・研究・評価**
- **アンケート等を活用した調査・分析・予兆の発見**
- **不登校と学力面・情意面との関連に係る研究**
- 各学校や相談室での不登校に関する取組への指導・助言

3 連携

社会に開かれたネットワーク構築事業（シンポジウム）

不登校を**理解**する



社会の認識を促し、協働の機運醸成を図る

- **地域や保護者を対象としたシンポジウム**の開催
- ぱれっとルームでの地域人材や学校応援団等との連携の促進
- ぱれっとラボへの不登校経験者の招聘
- 研究成果レポートの作成・公開

戸田型オルタナティブ・プランに係るこれまでの経緯

- **2022.3**
  - **「戸田型オルタナティブ・プラン」**を盛り込んだ令和４年度予算案が成立
  - 「戸田型オルタナティブ・プラン」実施に向けた**準備会議の開催** 3頁参照
- **2022.4**
  - **市内小学校３校をモデル校**として**「ぱれっとルーム」を設置** 6頁参照
- **2022.5**
  - **県立戸田翔陽高校内不登校生徒支援教室「いっぽ」**における**教育相談開始**
- **2022.6－**
  - **戸田市総合的な不登校対策会議（年3回）や校長会議**等で、市内小・中学校へ戸田型オルタナティブ・プランについて**周知**
- **2022.7**
  - 県立戸田翔陽高校内不登校生徒支援教室**「いっぽ」**に係る**埼玉県教育委員会との連携協定締結** 9～10頁参照
  - **シェア型オンライン教育支援センター「room-K」**に係る**認定NPO法人カタリバとの連携協定締結** 11頁参照
- **2022.8**
  - シェア型オンライン教育支援センター**「room-K」の申込開始**
- **2022.9**
  - **「ぱれっとルーム」の市内全校拡大**を盛り込んだ**補正予算案**が９月議会で成立
- **2022.9**
  - **「戸田市不登校について考える会」**を開催 12頁参照
  - **「ぱれっとラボ」開設**（6名の外部研究員を委嘱） 7頁参照
- **2022.10**
  - 県立戸田翔陽高校内不登校生徒支援教室**「いっぽ」**における**学習支援開始**
- **2022.11**
  - 小学校9校に**「ぱれっとルーム」を追加設置**し、**市内全小学校に拡大**
- **2023.1**
  - **不登校支援に係るリーフレット**を作成し、全小・中学校に送付 13頁参照
- **2023.2**
  - **「戸田型オルタナティブ・プランの更なる推進」**を盛り込んだ**令和５年度予算案**を議会に提出　→　３月に成立 18頁参照

多様な学びの場の選択肢

小学校

ＳＣ・ＳＳＷ・
スクールサポーター
と連携



教室
ぱれっとルーム

自宅



中学校



ＳＣ・ＳＳＷ・
スクールサポーター
と連携

教室
さわやか相談室

オンラインの
授業参加も

埼玉県立
戸田翔陽高校内



生徒支援教室
いっぽ

メタバース



（認定NPO法人カタリバ）
room-K

戸田市立教育センター



教育支援センター
すてっぷ

戸田型校内サポートルーム「ぱれっとルーム」

1 戸田型校内サポートルーム設置事業

不登校を「支援」する
不登校傾向にある児童生徒を早期支援する

小学校12校中３校に設置→**全校に拡大**（令和４年１１月開室）

【趣旨】**誰一人取り残されない教育の実現**に向け、学校生活上、不安や困難を感じている児童や不登校傾向児童への多様な居場所の確保による早期対応・早期支援



ぱれっとルームイメージ

【活用例】
①何らかの理由により教室に行きづらい児童の生活や活動の場
②一時的にクールダウンが必要となった児童の居場所
③教職員やスクールカウンセラー等の教育相談の場

【連携に関する取組】
①校内研修での共通理解
②保護者への周知
③担当者本人の対応力向上研修

モデル校での成果・期待される効果

・昨年度まで**不登校であった児童が登校**しており、長期欠席者の減少が見られる。（令和４年８月現在）【教室復帰の契機】
・各校**３～４名程度**の固定的な利用がある。【確かなニーズ】
・ぱれっとルームで過ごしつつ、学級の授業に出られているケースがある。【家でも教室でもない第３の居場所】
・オンラインで在籍の授業に参加することができる。【学びの場の選択肢】



個別の学習スペース



オンラインで授業に参加したり、絵を描くなどの個別の活動をしたりします。

不登校対策ラボラトリー「ぱれっとラボ」

2データ

不登校対策ラボラトリー「ぱれっとラボ」設置事業
不登校を科学する
戸田市教育政策シンクタンクとの連携
全人的な教育を科学の視点で捉え、支える
スタンドバイ株式会社との連携
デジタル庁実証事業に採択

「ぱれっとラボ」外部研究員

調査研究ＷＧ

加藤　弘通　氏
（北海道大学教育学研究院　准教授）
ホウ　ユエジャン　氏
（秋田大学教育学部　講師）
梅村　拓未　氏
（北翔大学短期大学部　講師）
谷山　大三郎　氏
（千葉大学教育学部附属教員開発センター特別研究員）

効果的活用ＷＧ

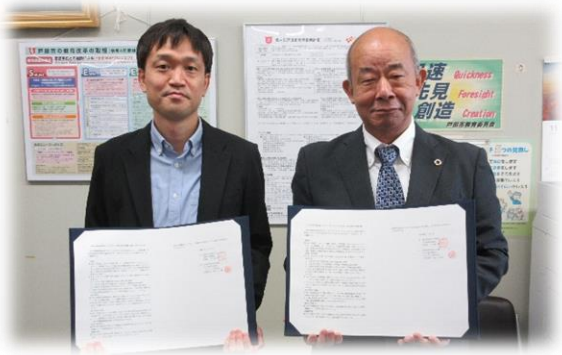
堀田　香織　氏
（埼玉大学教育学部長）
東　宏行　氏
（埼玉県立大学　教授）



〈主な研究内容〉

○児童生徒の実態把握や不登校等の予見や不登校対策につながる調査・分析・研究・評価を行う。
○調査研究ＷＧでは、「ぱれっとラボ」に関する取組の効果検証をデータに基づいて行う。
○効果的活用ＷＧでは、データに基づいて、「ぱれっとルーム」のより効果的な活用について指導・助言を行う。

スタンドバイ株式会社との連携



STANDBY

データに基づく心の健康観察

心の健康観察アプリ「シャボテン」の活用

「ぱれっとルーム」モデル校の全児童が自分の端末で毎日、気分や体調を回答し、心の健康状態を記録する。



連携の概要

○戸田型校内サポートルーム「ぱれっとルーム」モデル校において児童に自分の健康状態を記録、把握させることにより、児童の自己管理能力を育成する。
○児童の日々の状態の変化を把握し，児童の心の健康問題の早期発見・早期対応につなげる。
○児童の状態を分析することにより、心の健康問題の予見につなげる。

教育支援センター　すてっぷの特色について

特色１　戸田市の不登校対策の拠点

◆不登校支援の専門的知見を活用した教室運営
◆居場所、学習に適した環境の整備
◆不登校支援の専門家による教育相談
◆教育相談コーディネーター・SSW・SCとの連携
◆総合的な不登校対策会議・教員研修運営支援





特色２　一人一人に応じた支援プログラム

◆不登校児童生徒に適したカリキュラム編成
◆豊かな情操と社会性を育む体験活動
（農業・体育・調理・絵手紙作成・茶道　等）
◆個々の可能性を伸ばす先進的な学びの支援
（プログラミング・STEAM教育）

特色３　不登校児童生徒の保護者支援

◆保護者の希望に応じた専門家による教育相談
◆「保護者とともに不登校について考える会」協力
◆すてっぷ通級状況を踏まえた保護者会の実施

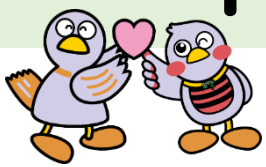




特色４　アウトリーチ型支援の実践

◆教育相談コーディネーター、校長、家庭との連携
◆保護者の希望に応じた家庭訪問支援の実施
◆個に応じた学習や生活支援プログラムの実施

不登校児童生徒の支援充実に向けて





連携・協力

- ◆ （県）支援教室「いっぽ」と（市）教育支援センター「すてっぷ」との連携・交流
- ◆ 高校進学を見据えた学習支援
- ◆ 高校生との交流、保護者同士の交流
- ◆ 不登校児童生徒のカリキュラム研究

埼玉県

戸田市

不登校児童生徒支援教室
「いっぽ」
- 県立高校内に設置
- 戸田市立中学校の教員がサポート

※先行事例（他自治体）等の調査

不登校児童生徒
保護者

教育支援センター
「すてっぷ」
- 民間委託での運営
- 多様なプログラムで個に応じた支援

- 不登校生徒対応の知見を共有
- 戸田翔陽高校の知見を活用
- 戸田かけはし高等特別支援学校と連携

戸田型オルタナティブ・プラン

～誰一人取り残されない教育の実現～

〇未然防止、早期発見・早期対応、適切な支援
〇小さなサインを「科学の視点」で見つけ出す

- 校内サポートルーム「ぱれっとルーム」設置
- 大学等連携の不登校対策ラボラトリー
- 社会に開かれたネットワークの構築

県立戸田翔陽高等学校内不登校児童生徒支援教室

「いっぽ」のご案内

令和４年５月20日開設！

県内の不登校生徒の社会的自立に向けた支援の一助となることを願い、支援教室「いっぽ」を開設します。「いっぽ」では、勉強したいけど学校に行きづらい生徒や高校進学等、将来に不安を抱える生徒等を対象に、戸田市教育委員会と県立戸田翔陽高等学校等と連携を図りながら、不登校生徒の相談や学習支援を実施します。

相談

対　　象：戸田市立中学校在籍の不登校生徒本人及び保護者
相談可能日時：５月２０日以降の毎週金曜日
（１０時から１２時、１３時から１６時）
受付時間：５月２０日以降平日の１０時から１５時まで
相談場所：県立戸田翔陽高等学校内教室（案内図参照）
相談の流れ：①保護者が下記の連絡先に受付のため連絡をします。
携帯番号：
②①の際に、相談希望日を伝えます。
③相談日に、来室します。
対応者：埼玉県スクールカウンセラー
相談内容：児童生徒及び保護者のこころの悩みを相談できます。

学習支援

※学習支援は、９月から開始予定です。

◎自分のペースでじっくり考えながら学習することを支援します。
→相談したいときに、相談できる先生などがいますので、遠慮せず相談してください。
◎体験活動や不登校を経験した先輩との交流会を実施する予定です。
◎現在、９月からの実施を目指して準備を進めています。６月中に説明会を予定していますので、後日ご案内します。

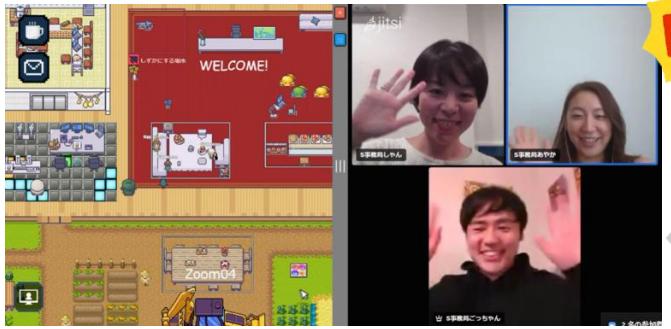




戸田市 × 認定NPO法人カタリバ　連携

オンライン不登校支援プログラムについて

room-K　「シェア型」オンライン教育支援センター



POINT

◎オンラインの教育相談
◎オンラインの学習支援

これまで支援が届きにくかった
不登校児童生徒への手立て



R4.7.26連携協定締結
（市町村では全国初）

連携の概要

◎メタバース上での支援
◎学校・行政など、オフラインの支援者との連携
＜提供される主なサポートコンテンツ＞
①安心・安全な学びの場
②子供に合った学習機会
③一人一人の個別の支援計画・学習計画の作成
④定期的な1on1ミーティング
⑤専門家との連携
⑥保護者サポート

導入時スケジュール

R4.8	学校へ周知 教員向け説明会
R4.8.25	支援開始（２学期開始）
R4.9.10	不登校について考える会 （代表理事　今村様ご講演）

math channel Arschool　Qubena　zoom　Google Workspace

戸田型オルタナティブ・プラン

～誰一人取り残されない教育の実現～

〇未然防止、早期発見・早期対応、適切な支援
〇小さなサインを「科学の視点」で見つけ出す

学びの選択肢拡充「room-K」
大学等連携の不登校対策ラボラトリー
不登校理解の場　「不登校について考える会」

～誰一人取り残されない教育の実現を目指して～

「戸田型オルタナティブ・プラン」を推進しています！

近年、さまざまな事情により学校や教室に行けない児童生徒の数が増えており、全国的な課題となっています。市では、不登校対策支援事業として「戸田型オルタナティブ・プラン」を推進しています。未来を担うとだっ子が誰一人取り残されずに教育を受けられる環境を整えるため、さまざまな取り組みを進めています。　問い合わせ　教育センター　434-5660

オルタナティブとは？　「代替の」「新たな」という意味があり、「子どもたちに新たな居場所を」という願いをこのプランに込めています。

これまでの取り組み



- **さわやか相談室**　全中学校に設置し、さわやか相談員、ボランティア相談員、スクールカウンセラーを配置。教育相談や学習支援を実施しています。
- **すてっぷ**　市教育センター内に設置。児童生徒に適したカリキュラム編成を実施し、不登校児の学びの場の一つとなっています。
- **SNS相談**　市内小・中学校の児童生徒を対象に、LINEとTwitterで「SNS心の相談窓口@とだ」を開設しています。

新たな取り組み

①学びの場の選択肢の拡充



- **ばれっとルーム**　小学校3校に設置している戸田型校内サポートルーム。スクールサポーターなどを配置しています。
- **オンラインで授業に参加**　一人一台貸与されているGIGA端末を使って、教室外から教室の授業に参加できます。
- **いっぽ**　埼玉県教育委員会と連携し、市内の中学生を対象にした不登校生徒支援教室を戸田翔陽高校内に設置しています。
- **メタバースを活用した不登校支援**　認定NPO法人カタリバと連携し、オンライン上のシェア型教育支援センター「room-K」による支援を行っています。

②不登校を「科学」する

- 不登校対策、支援に関する調査、研究、評価
- 教育福祉データベースにより、子どもたちの不登校などのSOSの早期発見・対応を試行する

③社会に開かれたネットワークづくり

- 不登校についての理解を深める取り組み

地域や保護者を対象としたシンポジウム

「戸田市不登校について考える会 ～一人ひとりを大切に～」を実施します！

- **とき**　9月10日（土）、午前10時～午後1時
- **ところ**　文化会館3階　会議室301
- **講師**　認定NPO法人カタリバ代表理事　今村（いまむら）久美（くみ）さん

QRコード　申込はこちら



令和4年度 特別支援学級・通級指導教室の設置状況

発達・情緒通級指導教室（フレンドリールーム）

学校名	通学区域
美谷本小学校	美谷本、笹目、笹目東、美女木、芦原
喜沢小学校	戸田第一、戸田第二、新曽、戸田東、戸田南、喜沢、新曽北
新曽中学校	市内中学校

難聴・言語通級指導教室（ことばの教室）

学校名	通学区域
新曽小学校	新曽、戸田南、新曽北
戸田東小学校	戸田第一、戸田第二、戸田東、喜沢
美女木小学校	美谷本、笹目、笹目東、美女木、芦原

Point
- 小学校12校中11校、中学校全校に特別支援学級が設置されています。
- 芦原小学校は教室不足が解消され次第開設予定です。
- 発達・情緒通級指導教室が3校、難聴・言語通級指導教室が3校設置されています。



戸田市 不登校について考える会 ～一人ひとりを大切に～



令和４年９月１０日（土）

１０：００～１３：００（受付開始9:40）

戸田市文化会館３階　会議室３０１

タイムスケジュール

１０：０５～１１：０５　基調講演

「不登校の現状や考え方について（仮）」

講師：認定NPO法人カタリバ代表理事　今村　久美　様

※文部科学省中央教育審議会委員、経済産業省産業構造審議会臨時委員

１１：１５～１２：００　シンポジウム

コーディネート：学研エル・スタッフィング

※戸田市教育支援センター「すてっぷ」運営

１２：００～１３：００　個別相談会（文化会館・教育センター）

フリースクールやサポートルームなど、学びの選択肢について相談することができます。（１組１０分程度）

申し込み専用フォーム（しめ切り9/4）

＜URL＞　HP用は削除

＜QRコード＞　HP用は削除

お問い合わせ　戸田市立教育センター
☎　048-434-5660

戸田市教育委員会主催

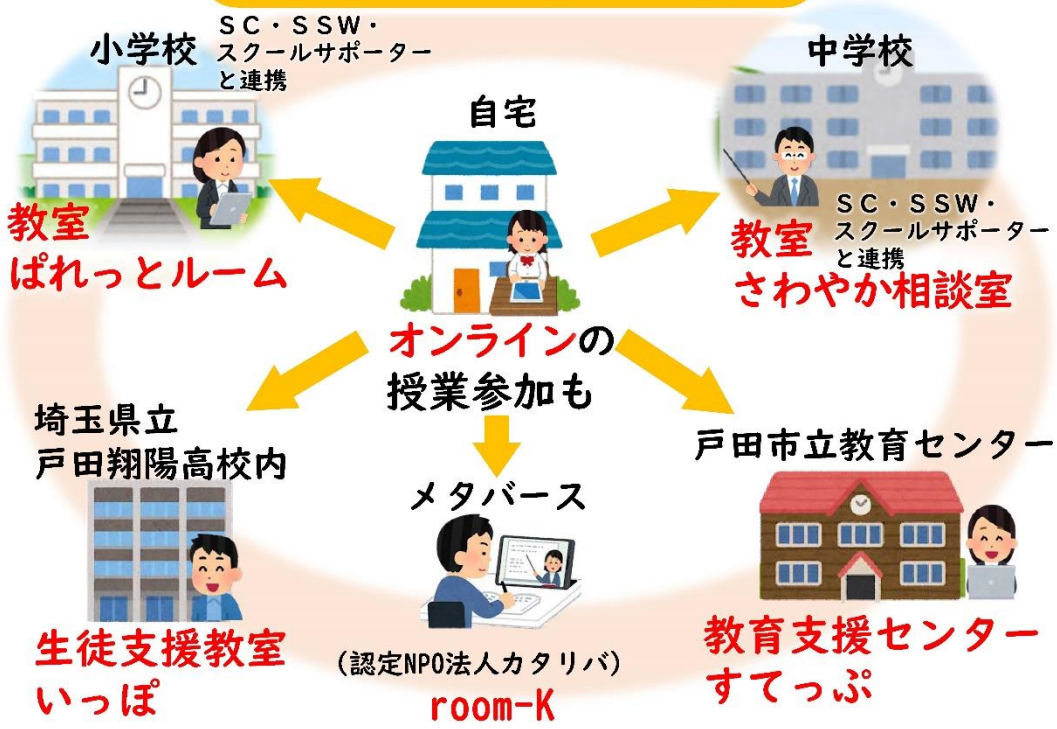
誰一人取り残されない教育を目指して

～戸田市の不登校児童生徒支援について～

戸田市では、児童生徒の教育の機会を確保するため、学びの場の選択肢を拡充し、児童生徒支援の充実を図っています。

このリーフレットでは、戸田市における様々な学びの場について紹介します。

多様な学びの場の選択肢



お子様の不登校に関するご相談

■各小・中学校（教育相談担当）

■各中学校（さわやか相談室）

戸田中学校	048-442-3015
戸田東中学校	048-433-6070
美笹中学校	048-421-5911
喜沢中学校	048-444-6411
新曽中学校	048-433-7877
笹目中学校	048-422-6911

■戸田市立教育センター

（心理カウンセラーとの教育相談予約）

048-434-5670

このリーフレットに関する問合せ

■戸田市立教育センター

教育相談担当　048-434-5660

戸田市教育委員会

令和４年度　戸田市教育相談充実構想

小学校スクールカウンセラー
全12校週２回配置　年90回
○児童、保護者等の相談　○教室訪問
○教職員への助言　○教職員研修の実施
○ケース会議等への参加　○発達検査の実施

中学校スクールカウンセラー
県費4名、4校週1回、2校隔週配置
市費6名、年３２回配置
○中学校区の児童生徒、保護者等の相談
○関係機関との連携　○教職員への助言

ピアサポーター
大学生ボランティア

新規
スクールサポーター
小学校　モデル校３校配置　年１６９日
中学校　すこやかサポーターをリニューアル 年２２０日
○不登校対策支援　○ばれっとルーム運営（小）
○校内巡回　○学習補助　○生徒指導対応

さわやか相談員・ボランティア相談員
さわやか相談員6名　週5日
ボランティア相談員12名 週2～3日
○中学校区の児童生徒、保護者等との相談
○教育センター・SC・SSWとの連携

各小・中学校

「切れ目のない支援」「きめ細やかな支援」
一人一人の多様なニーズに応じた教育相談
【重点事項】
①専門性のある人材の安定的な確保
②気軽に相談できる体制づくり
③不登校児童生徒支援の充実

スクールソーシャルワーカー
各中学校週1日配置 ※県費2名・市費１名
○不登校への対応　○児童生徒虐待への対応
○家庭訪問対応　○福祉との連携

新規
「シェア型」オンライン教育支援センター
認定NPO法人カタリバと連携
○オンライン不登校支援プログラム
○オンライン教育相談・学習支援

教育心理専門員
平日及び土日に配置 週4日程度 年180日
○児童生徒、保護者等の相談　○早期就学相談
○発達検査の実施　○5歳児発達健診での相談

SNS教育相談
専門カウンセラー が対応
○SNS相談　17時から21時を想定
（７月開始）



教育相談コーディネーター
平成30年度から1名配置　年１７１日
○学校及び各関係機関との相談機能の連携・強化
○総合的な教育相談体制の構築
○すてっぷとの連携・相談員の支援

日本語指導員
５名配置　　週1～3日
○市内小・中学校への日本語の訪問指導及びサポート
○日本語指導が必要な児童生徒等へのアセスメント
○日本語指導が必要な児童生徒及び保護者との相談
※別途日本語指導教員5校配置

新規
生徒支援教室　「いっぽ」
月～木　10：00～15：00　金は教育相談
○埼玉県教育委員会設置
○個別学習（いっぽのスタッフが支援）
○体験活動（栽培活動・高校生等との交流等）
○戸田市教育委員会との連携事業

教育支援センター「すてっぷ」
平日10：00～15：00　年１９０日程度
○戸田市不登校対策支援の拠点
○不登校児童生徒に適した支援プログラムの実施
○不登校児童生徒の保護者支援
○アウトリーチ型支援の研究と実践

心の教育アドバイザー
平成30年度から１名配置　　年１２０日
○小・中学校、幼稚園・保育園と連携・訪問・相談
○福祉、医療等と幅広く連携した早期就学相談
○一人一人の教育的ニーズに応じた就学相談

戸田型オルタナティブ・プラン　令和4年度の状況と今後に向けた展望

成果①　多様な学びの場の活用

（１）ぱれっとルーム【小学校校内サポートルーム】
　　○市内小学校において総計101名が活用（R5.2現在）
（２）いっぽ【埼玉県教育委員会生徒支援教室】
　　○概ね１０名（定員）程度の利用（R5.2現在）
（３）room-K【シェア型オンライン教育支援センター】
　　○小・中あわせて７名の登録がある。（R5.2現在）
（４）すてっぷ【教育支援センター】
　　○利用児童生徒数が増加（R3.12月末 31名　→　R4.12末 41名）

成果②　シンポジウム開催

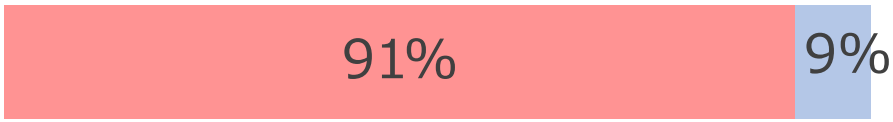
戸田市 不登校について考える会～一人ひとりを大切に～開催
【講　師】**認定NPO法人カタリバ代表理事　　今村　久美**　様
【参会者】１１４名

《アンケート結果》
講演：**とてもよかった　＋　よかった　＝　１００％**
シンポジウム：**とてもよかった　＋　よかった　＝　１００％**
個別相談ブース：**１６団体**

成果③　ぱれっとラボによる分析

「ぱれっとルーム」モデル校３校で児童、保護者、教職員対象にアンケート実施

【児童アンケート】ぱれっとルームが楽しい、やや楽しいと答えた児童の割合



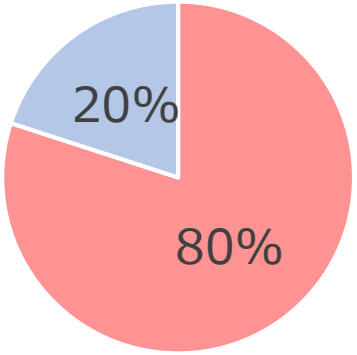
n = 23

【教職員アンケート】ぱれっとルームの設置によって肯定的な変化があった教職員の割合



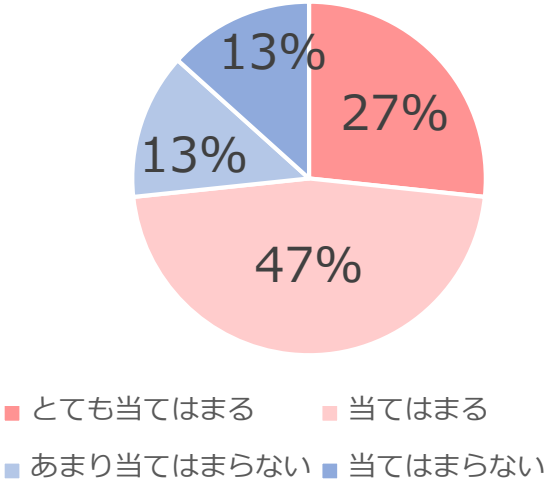
n = 59

【保護者アンケート】ぱれっとルームの設置によって子供に変化があったと感じた保護者の割合



n = 15

【保護者アンケート】ぱれっとルームの設置によってストレスが減ったと回答した保護者の割合



n = 15

《各種アンケート結果からの考察》

・児童、保護者、教職員それぞれに高い割合で**肯定的な変化**が見られた。

・保護者の**不安やストレスの緩和**にもつながった。

今後に向けた展望

- 徐々に**多様な学びの場**が教職員や学校関係者に浸透し、活用が深まっている。他方、場が出来ただけで課題が解決される訳ではないため、**それぞれの場の有機的な連携を一層高めていく必要**がある。
- 必要とする児童生徒及びその保護者に**情報が必ずしも届ききっていない**面があるため、引き続き情報発信を行っていく。
- 国や県の調査では令和４年度の正式な数値が出ていないため、次年度も**引き続き効果を検証**する必要がある。
- 今後とも、「**子供が学校や社会に合わせるのではなく、学校や社会が子供のニーズに合わせて変わっていくべき**」というビジョンの下、施策を充実させていきたい。

○戸田市教育委員会公式 note

https://note.com/toda_boe/n/n17d335eb7214



戸田型オルタナティブ・プランの更なる推進
（令和５年度）　～誰一人取り残されない教育の実現～

◆ 「未然防止」「早期発見・早期対応」「適切な支援」のための選択肢
◆ 「リアル」と「デジタル」の両面からの支援の充実、各居場所の有機的な連携の強化

1 多様な学びの場の拡充 不登校を支援する

児童生徒の心理的安全性を高め、学びに向かえる場所の選択肢を拡充

市長部局など関係機関との連携

- 戸田型校内サポートルーム**「ぱれっとルーム」を、年度当初から小学校全12校に設置（全小学校へスクールサポーターを配置）**
- 教育センター内にある**「すてっぷ」を別の拠点（西部）に1教室増設**
- 総合的な不登校対策により、それぞれの場の**有機的な連携を強化**



2 不登校対策ラボラトリー「ぱれっとラボ」の取組深化 不登校を科学する

戸田市教育政策シンクタンクとの連携
全人的な教育を科学の視点で捉え、支える

デジタル庁実証事業に採択

- 不登校対策ラボラトリー**「ぱれっとラボ」による効果検証**
- 各学校や相談室等での不登校に関する取組への指導・助言
- **「教育総合データベース」**事業による、誰一人取り残されない、子供たち一人一人に応じた支援の実現
- **アンケート**等を活用した調査・分析・**予兆の発見**
- 本市の不登校対策・支援に関する調査・研究・評価



3 社会に開かれたネットワークの構築（教育相談体制を拡充） 不登校を理解する

地域や保護者の理解を深め、協働の機運醸成を図る

委託・連携事業等との関係強化

- 「戸田市**不登校について考える会**」の実施
- 教育センターの教育相談対応時間の拡充
  （各小中学校でのスクールカウンセラーによる教育相談の他、教育センターでの心理カウンセラーによる相談を、**土日に加え週１回平日夜間にも相談**できる体制を整備）
- 民間との連携による、オンラインを活用した相談及び支援体制の強化





令和５年度　戸田市教育相談充実構想

小学校スクールカウンセラー
全12校週２回配置　年90回
○児童、保護者等の相談　○教室訪問
○教職員への助言　○教職員研修の実施
○ケース会議等への参加　○発達検査の実施

中学校スクールカウンセラー
拡充
県費3校週1回、3校隔週配置
市費6名、年４０回配置
○中学校区の児童生徒、保護者等の相談
○関係機関との連携　○教職員への助言

ピアサポーター
大学生ボランティア

スクールサポーター
小学校「ぱれっとルーム」に１名配置　年１６９日
中学校　各校に１名配置　年２２０日
○不登校対策支援　○ぱれっとルーム運営（小）
○校内巡回　○学習補助　○生徒指導対応

さわやか相談員・ボランティア相談員
さわやか相談員6名　週5日
ボランティア相談員12名 週2～3日
○中学校区の児童生徒、保護者等との相談
○教育センター・SC・SSWとの連携

各小・中学校
「切れ目のない支援」「きめ細やかな支援」
一人一人の多様なニーズに応じた教育相談
【重点事項】
①専門性のある人材の安定的な確保
②気軽に相談できる体制づくり
③不登校児童生徒支援の充実

スクールソーシャルワーカー
各中学校週1日配置 ※県費2名・市費１名
○不登校への対応　○児童生徒虐待への対応
○家庭訪問対応　○福祉との連携

「シェア型」オンライン教育支援センター
認定NPO法人カタリバと連携
○オンライン不登校支援プログラム
○オンライン教育相談・学習支援

拡充 教育心理専門員
平日及び土日に配置 週4~5日 年200日程度
○児童生徒、保護者等の相談　○早期就学相談
○発達検査の実施　○5歳児発達健診での相談

SNS教育相談
専門カウンセラー が対応
○SNS相談　17時から21時を想定
（７月開始）



教育相談コーディネーター
平成30年度から1名配置　年171日
○学校及び各関係機関との相談機能の連携・強化
○総合的な教育相談体制の構築
○すてっぷとの連携・相談員の支援

日本語指導員
５名配置　　週1～3日
○市内小・中学校への日本語の訪問指導及びサポート
○日本語指導が必要な児童生徒等へのアセスメント
○日本語指導が必要な児童生徒及び保護者との相談
※別途日本語指導教員5校配置

新規
R５より西部地区に１教室増設

生徒支援教室 「いっぽ」
月～金　10：00～15：00　金は教育相談
○埼玉県教育委員会設置
○個別学習（いっぽのスタッフが支援）
○体験活動（栽培活動・高校生等との交流等）
○戸田市教育委員会との連携事業

教育支援センター「すてっぷ」
平日10：00～15：00　年１９０日程度
○戸田市不登校対策支援の拠点
○不登校児童生徒に適した支援プログラムの実施
○不登校児童生徒の保護者支援
○アウトリーチ型支援の研究と実践

心の教育アドバイザー
平成30年度から１名配置
○小・中学校、幼稚園・保育園と連携・訪問・相談
○福祉、医療等と幅広く連携した早期就学相談
○一人一人の教育的ニーズに応じた就学相談